

わたしたちの町

人口(男).....4,523人  
(女).....4,864人  
計.....9,387人  
1月中の転入.....14人  
転出.....19人  
世帯数.....2,309世帯

(1月末日 住民登録人口調べ)

広報

あのかわ

昭和60年2月23日 第322号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月20日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

'85/2月

322号

初出荷に喜びの歓声

秋田工場待望の操業



昭和五十八年十月から工事が進められていた東洋精箔株式会社秋田工場で、生産機械が稼働しました。昨年末からの試運転に続いて、一月十五日に製品生産を開始。一月三十一日には輸出向けの十六トンの製品を大野台からの「発出荷」として横浜港に搬送しました。専用トラックが動き出すと、「バンザイ、バンザイ」と新工場に響きわたる歓声。片山皓詞社長と従業員の皆さんが、「愛児」を送り出すかのように見送っていました。二月十日には同工場の開所式が行われ、十七名で本格操業に向けてスタート。二年以内に五十名の従業員で年間十億円の生産高を目ざしています。

東洋精箔株式会社

大野台工業団地



「同じ目で学び、一つの心になって開発を進めよう」と、島山管理者が開会のあいさつ。運輸省近畿運輸局長・井上春夫氏が「空港整備の現状」について基調講演を行いました。井上氏はこの中で▽国内航空の利用者は年間四千万人。東京―九州、東京―北海道などは航空利用が圧倒的に多い。▽航空輸送は先端産業の誘致や、農作物の販路拡大にも有利になる。▽秋田空港規模建設費は約四百億円。▽五十億円以上かかる高速道路に比べて安上がりと言える。▽国の空港予算は年間七億円で程度しかない。▽東京・大阪の離発着は限界で、拡張工事が予定されている。▽コミュニティ(小規模空港)は一キロ当たり百円以上の高い料金になり、採算のためには公的な援助がないと難しい。▽YS11を一日三往復させるとして、九万人の利用がメドになる。と空港について細かく説明。「空港を地域開発と結びつけて考えてほしい」とのべました。

大野台空港

誘致に焦点

ぜひ必要な

高速交通機関

鷹巣阿仁広域市町村組合(管理者・島山義郎町長)主催のシンポジウムが一月二十一日、国民会館(鷹巣町)で開かれました。シンポジウムはテーマを「二十一世紀への発展を考えて」として、高速交通の時代にむけての地域開発について約六百人が集いました。

鷹巣阿仁開発で六百人集會

地域の二十一世紀にむけて

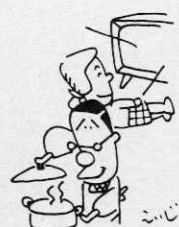
シンポジウム

続いて建設省路課長・依田和夫氏、仙台通産局商工部長岡田利一氏、秋田魁新報社論説委員・藤川浄之氏、県議会議長北林照助氏、鷹巣町長・出川礼一氏が意見を発表しました。依田氏は「鷹巣阿仁部は多くの開発の可能性があり、そのためには高速道、新幹線、飛行場との結びつきが必要」と指摘。岡田氏は「企業誘致には交通体系の整備が大切。臨空型の先端産業への期待が大きい」と飛行場の優位性を語りました。藤川氏は「外部から人を呼びこむことが必要」として「自然と一人ひとりの生き方を大切に、地域の連携の中で開発を」と呼びかけ。北林氏は「自動車道、鉄道交通の整備には年数がかかる見通しで、県北あげて空港誘致に取り組み」と訴えました。出川氏は「大野台の開発には土地利用の協力が必要。農業の企業化を含めて、手を取り合って地域開発を進めよう」と意欲を示しました。

衆議員議員・野呂田芳成氏が幅広く地域の課題にふれながら「井上氏の数字を分析すると、県北空港は現実的で誘致可能。農業・工業・観光など多くの開発にぜひ必要であり、実現をめざす」とまとめを行いました。会場は五カ町村の議会議長、団体機関の役員と一般参加者でぎっしり。「行政ワークにとらわれず、歩調を合わせて地域の発展を考えよう」という発言に大きな拍手がわきました。広域市町村組合では、こうしたシンポジウムを毎年開催する予定です。

湯豆腐

寒い夜の食卓に、なべ物は体をしんから暖めてくれるように楽しいものです。その一つである湯豆腐は、その手軽さから「ファン」が多いようです。特に最近健康食品として見直され、若い人たちの間でも湯豆腐が、増えているのだそうです。こうした人気は海外での「日本食」の人気の逆輸入の形で日本人の豆腐人気につながっている面が大きいと言いますから、皮肉な現象です。湯豆腐の味は「だし」と「たれ」。各家庭に独自の工夫があるようです。何よりも食べるタイミングが大切で、豆腐がユラユラと今にも浮き上がりそうなところを食べるのが、一番おいしい食べ方とか。その豆腐も、店頭のものとはほとんどが輸入大豆ということ。豆腐本来の甘みや香りを楽しみたいと嘆く人も多いということです。ともあれ、体をあたためて、風邪などひかずに冬を乗り切りましょう。



とろみおろし

▽水たまりや雪どけ道を通る時は、近くに歩行者がいないか、よく確かめましょう。歩行者がいたら除行するか、止まって歩行者の通過を待ちましょう。▽お年寄りや子どもが水たまりの近くにいる時は、特に気をつけましょう。▽道路を雪捨て場、雪消かし場にするには、絶対にやめましょう。



町長日記から

小阿仁川の流量不足が、上小阿仁村では簡易水道水源の伏流水が涸渇(こかつ)するなど深刻になってきた。小阿仁川水系対策委員会(上小阿仁村・合川町の議会議長で構成)が、県とたび重なる交渉でなかなか対策が進展しなかつたが、昨秋、佐々木知事との話し合いで急速に県の態度が前向きになり、二月八日の県との三者会議で、小阿仁川第二ダム建設が、その水量を

ストレートに下流の水利権とするにより、常時、流量や流域利水に向けられることで意見が一致し、両町村の六月定例議会までに積極的な「つめ」をすることとなった。この間、十年以上の歳月をかけたが、いよいよ本格的な取り組みとなろうとしたことで、私たちは歴史の展望をしながら、精力的に努力することを誓い合った。(義)



# 青年の夢、婦人の声を

# 未来につないで二十回

## 合川町青年婦人議会

第二十回合川町青年婦人議会は二月十一日、役場会議室で開かれました。この議会は「青年婦人の政治学習であり、同時に学習成果を町政に反映させる」ために開かれていくものです。

土濃塚イマ婦人会長が「自分の言葉と確かな目を持った青年婦人になろう」と二十回の歩みを振り返り、松岡良寿連合青年会長は「自分たちで何が出来るか、町政には何を期待するかを卒直に語り合いたい」とあいさつ。米倉甚逸町議長が「青年婦人の声は、町当局・議会でも真剣に受けとめ、町づくりの力になってきた」と激励しました。

十八名の青年婦人議員による本会議と、傍聴者も話し合いに加わって進められた分科会の、主な内容は次のとおりです。

### 町長の 町政報告から

### 住みよい環境と 職場づくりを

青年婦人議会は二十回を迎え



たわけですが、初めのころは国の高度経済成長期とも重なり、農村の整備が急速に進みました。暮らしが便利になり、楽になったわけですが、反面で農業の所得構造が変化していく中で、ありました。町の財政の方向など、勉強していかない町の針路を見誤りやすい状態の中で、青年婦人といっしょに政治学習を積み重ねてきた成果が、町づくりに生きていくと思えます。

町づくりの基本として〇町に住んで所得を得ることが出来るように、〇年齢的に調和のとれた人口構成になるように、ということを考えています。そのためには、職場を増やすこと、住みよい環境を造ることが大切です。

職場を増やし、町に住んで個人の適性にあつた仕事を選ぶことが出来るのが理想です。

大野台の開発は、東北の定住圏の拠点として構想されており、その進展に全力をあげています。こうした町の未来を担っていくのは青年であり幼少年です。将来にわたって合川町が発展していくために、見かけにとらわれずに「実質」を大切にして未来を考え、担っていく力を育ててほしいと期待します。

.....

二十歳を迎えた青年婦人議会。町づくりの一翼を担って真剣な話し合いが続く。

### 一般質問から

### 経済文化の 一大ランドに



永坂 靖議員  
(青年代表 道城)

一、町の除雪力を向上させ、安全な道路確保を図ってほしい。町の機械力と町民の協力とで区別に日時をずらして排雪デーを、防風雪さくくの設置をすすめる必要がある。

二、ふるさと祭りを、町民みんなが参加する祭りに発展させよう。

三、高速交通体系の整備、フィンランド村づくり、鷹角線の蒸気機関車運行など経済と文化の一大ランドをめざすべきだ。科学博覧会を誘致してはどうか。

一、個人の機械や軽トラックの活用による全町除雪デーなど、安全確保には各家々の協力も呼

### 合川高校に 福祉科を



三浦るり子議員  
(婦人代表 三木田)

一、福祉と教育の一体になった町づくりを期待する。その中心として公立合川高校に福祉科を誘致しよう。

### 青年婦人議会 分科会の 話し合いから

### 中国視察団の 派遣を

▽今年には国際青年年。アジアの青年との友情のためにも、「中国視察団」を派遣してほしい。

一、意欲ある青年の中から選んで、地域おこしに結びつく視察団を派遣したい考え

びかけていきます。上杉下移バスは昭和六十年年度開通の予定引き続いて増設バス、南地区バスなど県道の整備を要望しています。

二、町民総参加の一大行事にしたいものと考えています。民間の企画参加によって、観光的にもすばらしいものになるように期待しています。

三、県北空港、日本海縦貫高速道、鷹角線の運行が地域の大きな課題で、青年たちを含めて将来への意向をまとめ、その実現をめざしていかねければなりません。大野台開発については国の各省庁の横断的な調査を要望しています。産業・文化レクリエーションの調和のとれた緑のあふれる開発をめざし、さらには町内生産物の販売にも結びつけてほしいものです。

二、検診率の向上を図る具休策は？ 特に肺ガン予防への対策が必要だ。

三、町国保診療所にリハビリ科を設置してはどうか。赤字は心配ないか？

一、成果の多い福祉教育研究指定校(合川西小学校が指定校)を町内全校に広めるよう要望しており、保育園からの一貫した教育の柱と考えています。福祉科新設は生徒の減少、就職先との結びつきなど課題が多く、見通しはありませぬ。

二、総合検診、やう年検診などきめ細かく検診を行っています。月百円以上の高額な医療負担になる人が長期未検者の中から数人おり、国民健康保険の負担も大きくなっています。町民一人ひとりに呼びかけ、検診による早期発見・早期治療を呼びかけていきます。

三、リハビリ機械は保健センターにあり、毎月一回「集い」を開いています。年間約二十万円の赤字で、そのうち半分は建築費の償還金です。

### 一日里親運動を

金田浩子議員  
(青年代表 摩当)

一、町民にボランティア活動を広める方策を考えてほしい。大野台の里の一日里



親運動をすすめるよう。

二、県立精神病院は「福祉の町」の青年としてぜひ誘致してほしい。

三、結婚相手を見つづける機会を増やすために、県外青年との交流会など町でも積極策を講じてほしい。

一、ボランティア活動の盛り上がりを目指して、一日里親運動はぜひ全町に広めていきたいものです。

二、県の発展計画に大野台と盛られており、また並行してたてられた県の大野台福祉エリア構想もあり、精神病院を含めて誘致を進めています。大野台の里では独自に、入所者と家族のための「手造り福祉の村」の構想があり、具体化を図っています。

三、基本的には若い人口を増やすというところー雇用の拡大をめざしています。都市との人的な交流も増えますから、若い人たちの意志が大切になります。

### 大型店舗の 予定は？

桜井ノブ子議員  
(婦人代表 下杉)

一、環境の良い町づくりは

### 豊かな 文化の町に

▽福祉の町づくりのポスター募集を行ってはどうか。文化の豊かな町づくりを進めよう。文化活動のサークルがふえており、郷土讃歌の発表など町の三十周年事業の中でも、社会的視野を広める行事を企画しています。ポスター、標語の募集は随時、行っています。

▽農業指導センターの中で指



みんなの強い要望。上下水道の整備を進めてほしい。消火栓の冬期間の管理はどうなっているか。

二、商業の振興の中で、大型店舗の計画はあるか？

一、簡易水道の普及は九四％の世帯に及び他町に誇れる整備が進んでいます。しかし河川の伏流水の不足傾向から、将来の阿仁川ダム、小阿仁川第二ダムの水利用と上水道計画についても検討しています。消火栓の除雪は町民と消防団員の協力と話し合いの中で行っています。下水溝は小規模なものは町の配布資材を部活で工事し、百四十カ所約一万二千メートルで実施済み。部落内のみとまった要望に対応したい方針です。

二、町商工会の中で検討が進んでいると聞いており、その構想が魅力あるものとなるよう期待しています。町としては商圏人口の拡大策、鷹角線の利用者用を兼ねて駐車場の設置などを考えています。

青年婦人議会で三月に予定されている合川町農協理事選挙を含めて「明るく正しい選挙」の推進を特別決議しました。

分たちなりのものを考える姿勢がほしいものです。

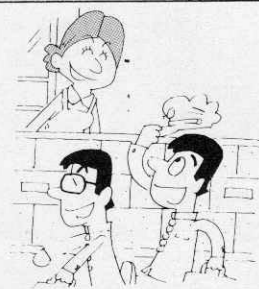
一社は操業を開始し、さらに一月は四月に工場建設に着手することになっており、見通しは明るいものと期待しています。



子どもは  
あなたを  
見つめて  
います。  
あなたは  
子どもを  
見つめて  
いますか。

## 合川町の教育を語る会

積極性  
忍耐力  
創造性  
思いやり  
のために



あいさつを  
しましょよう

## こんなことを実行しよう

- ▽一人一うね運動・花づくり運動を全町に広めよう。花の種から育てる一貫した取り組みが望ましい。
- ▽あいさつをしよう。あいさつの必要性を教えよう。
- ▽子どもたちだけの行事を持たせよう。中学生・高校生の参加を求めよう。
- ▽子どもに手伝いをさせよう。
- ▽野外に連れ出そう。年代の違う子どもたちで遊ばせよう。
- ▽ラジオ体操や火の用心。大きな声でがんばろう。
- ▽親戚や知人の宅で遊ばせよう。家庭ではできないしつけの機会になる。
- ▽高校生の意見を聞く機会を設けよう。
- ▽読書・映画鑑賞などをすすめ、感動する子どもを育てよう。
- ▽公共施設のきちんとした利用から、「しつけ」を身につける場としよう。

### あきつぼめて

#### 人まかせ

- ▽子どもは親の姿を良く見ている。親の知らない所で子どもは成長している。
- ▽理屈が多く行動が伴わない。
- ▽度をすぎずけんか、流行語、テレビの影響が大きい。食事もとらずにテレビに夢中。
- ▽遊び時間が小さくみであきつぼい。
- ▽集団でいるとあいさつするの一人一人になるとあいさつできな。
- ▽自主性がたりない。
- ▽クラブ活動などが忙しく、親子の時間は少ない。

### 親の愛を

#### こんな形で伝えよう

- ▽子育ての土台として小さなことと手洗い、つめ切り、などをしっかりやろう。
- ▽欲しいものを、すぐに与えないようにしよう。大人と子どものものがまんな比べだ。
- ▽手作りのおもちゃを与えよう。

### 手伝いをさせよう



### 一人一うね運動を 広めよう



### 子どもたちだけで遊ばせよう



「他人まかせでなく、自分たちで今日の話し合いを実行して」とあいさつ。木村教育長は「実践した結果を話し合いながら、一つ一つの課題にむかって進んでいこう」とまとめを行いました。



## お知らせコーナー



歩道排雪（李岱・駅前間）

### 町のこよみ

- 24日 月 県民歩くスキーの集い（大野台ハイランド）
- 26日 中国講座閉講式
- 3日 公立合川高校卒業式
- 15日 合川中学校卒業式
- 19日 合川西小・南小卒業式
- 20日 合川東小・北小卒業式
- 21日 春分の日（マトビ）
- 23日 地域づくり研修会
- 24日 町内四保育園卒園式
- 4日 町内小中学校入学式

### 国民年金 四月から 六、七四〇円に

国民年金の保険料が、四月から一カ月六千七百四十円になります。国民年金は給与年金の見直しなどに合わせて、かけ金の見直しが行われるものです。保険料の納付は、老後ばかりでなく、万一の事故や病気にも備えるものですから、確実に行いたいです。

付加年金保険料は、今までどおり月額四百円です。

◎有利な前納を  
一括して前納すると、手間がはぶけ割引になります。四月の前納保険料は一分七万八千九百三十円。付加保険料は四千六百八十円です。

### 正しい申告

#### 正しい納税

昭和六十年年度県民税の申告受付は二月八日から各部落を巡回して受け付けています。チラシで日程などをお知らせしていますが、無申告者については三月十五日に役場大会議室で受け付けします。

また所得税を税務署に申告しなければならぬ人は、申告期日が三月十五日までです。早めに正しい申告を行いましよう。

### ミニカーの免許試験

ミニカー（車室のある五十CC以下の三輪・四輪車）の運転には普通免許が必要になりました。現在、原付免許でミニカーを運転している人たちのための限定普通免許試験が八月十四日までに終わります。

問い合わせ、申し込みは森吉警察署・駐在所へどうぞ。

### 農耕用軽油 免税証交付

昭和六十年の農耕用に使用する軽油の免税証交付を次の日程で行います。

昭和六十年三月十九日（火）午前十時～午後三時まで 役場会議室

（交付日以前に軽油を購入する方は、購入する前に直接北秋田県税事務所までおいでください）

▽必要書類等……

- (1) 農耕用機械の所有証明書（販売業者からの購入証明書）
- (2) 耕作面積の証明書（農業委員会の証明書）
- (3) 申請者の印鑑（共同の場合全員の印鑑）
- (4) 手数料（三百円県証紙）

◎有利な前納を  
一括して前納すると、手間がはぶけ割引になります。四月の前納保険料は一分七万八千九百三十円。付加保険料は四千六百八十円です。

（1）免稅軽油使用者証  
（2）耕作面積の証明書（農業委員会の証明）  
（3）申請者の印鑑（共同の場合全員の印鑑）  
（4）前年に購入した免稅軽油の納品書、もしくは石油販売店からの証明（ただし二百リットル以下の方は不要です）

### 天気予報が 変わります

三月一日から秋田地方気象台の地域区分が細かく分けられます。今までの秋田県南部・北部の区域割りに加えて、内陸部、沿岸部に細分化されます。当町は「北部・内陸部」に含まれます。

### 事務所移転

▽東北電力合川出張所が今月いっぱいまで廃止されます。三月一日からは森吉出張所（☎七二二三二四）に引きつがれます。

▽合川町森林組合事務所は、二月十八日から役場内に移転しています。

### 加入ください 交通災害共済 不慮の災害共済

二月一日から六十年年度の市町村交通災害共済の加入申込みを受け付け中です。今年度から「不慮の災害共済」制度が新設されました。加入金はどちらも三百円。共済期間は四月一日から昭和六十年三月三十一日までの一年間です。途中加入の方は加入翌日から三月三十一日までです。保障、奨学援助制度など、くわしい内容は各家庭にチラシを配布していますのでご覧ください。申し込み、問い合わせは役場総務課窓口、または役場職員にお寄せください。

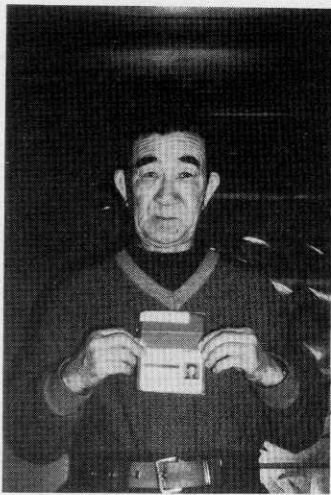
### 【訂正・おわび】

広報前号の新春座談会の参加者・工藤丈太郎氏は工藤丈多郎氏の誤りでした。その他、各記事にも多くの誤字（校正の誤り）等がありました。謹んでおわび申し上げます。



# わが家のわたしの宝もの ③④

## 昭和15年取得 今も継続運転免許証



三 里  
福岡政之助さん

福岡さんは大正4年生れて10月で70歳。運転歴45年になります。

「土建(秋田土建)の仕事の関係で取りました。当時は町内で免許を持っている人は3人位。村にいて免許を取ったのは初めてだったかもしれません。」

「実技試験に合格すると学科の講習を受けることができて、試験がありました。答は文章で書くもので難しく、漢字の誤字はまちがいになるから、かなで書けばよいと言われました。」

運転を通じての思い出は尽きません。「戦前は石材や砂利の運搬が主でした。軍隊時代に、北京の飛行隊で車を動かしました。戦争中は堂々と運転していたのが、敗戦の日からは、中国の人たちの目につかないように裏道を探して走らされました。」

戦後は部落の製材などで働きました。「今の製材の所に大きなどば(貯木場)があって、製材所では職人が2交替で木を挽(ひ)いており、それに間に合わせる運材がたいへんでした。」

安全運転の福岡さんも、怖い思いをしたことがあるそうです。「急ぎの仕事で走っていて、列車につっこみました。大事故でしたが幸い、けが人は出ませんでした。今の若い人の運転は、ヒヤヒヤします。」

昭和50年まで県の道路工夫として勤務。「テコボコの砂利道で、昔は車の性能が悪く難儀もありました。冬は除雪がありませんから車は動かせません。油がなくて、配給制の時代も経験しました。」  
「皆免許・マイカーの時代になって「たまにしか運転しません」が免許証は大切にしています」と元気いっぱいでした。

ゼッケン41番。全県高校スキーで完勝した松橋選手。

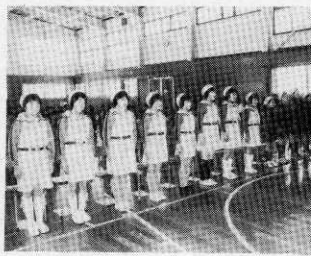


# やったぞ!! 松橋江利子選手

距離今年も大活躍  
スキー

スキーシーズンだけなわー各種全国大会で松橋江利子選手(道城一亮悦さん長女)米内沢高校三年)が大活躍しています。県民体育大会では五キロ競技、十キロ競技、リレー競技と三冠優勝。県高校総合体育大会では十キロ競技とリレーで優勝しました。

合川南小学校に  
全国交通安全表彰  
一月二十一日・二十二日、東京都で開かれた交通安全国民大会で、合川南小学校に「優良学校」が贈られました。



この表彰は全日本交通安全協会の最高表彰で、児童、教職員、地域関係者の一体となった活動が讃えられたものです。

## ふるさと昔話 めぐり ⑬

### 孫七沢の開田

孫七沢の由来は定かではありませんが、この沢の内、七ヶ所の小沢の水を利用して開田したようです。現況は杉林となっていますが、ハッキリ田圃の区画が残っています。小阿仁川を「親」とし、沢川は、「子」、小沢を「孫」として孫が七つあるところから惣名、孫七沢となったようです。その



おはなし  
三浦市郎兵衛さん

の後、水上の御直山の境を犯し、拓殖して有難くない文書を貰っているの紹介します。孫七沢の内右出戸沢左置沢より水上一丁目迄御直山二候処右板取沢左松倉沢より下郷山と心得違致候此度御引上被罷成併是迄銘々符入分致候杉雑木共取立罷有候に付依頼格別之御吟味を以植立被任置候に付成木之上願申上候ハ杉定式御割合を以可被下置雑木ハ之迄通り被任置候間猶更出精可取立不出精ノ儀於有是ハ御引上可被成候間此旨心得違無之可相心得候 以上 能代木山方  
文化十年戊五月(一、八十

三年) 特別の計いとして杉の植付を行って、成木になったら願いがあれば一定割合(藩七一部落三)で分け前を与えよう。それまでは、雑木は今ままでどおり、がんばって切り出して、手入れをしないというわけですね。能代木山方というのは今の菅林署のようなもので、三木田村にあてて命令されています。

火の用心!!ここが危険です  
⑪火遊びによる火災をなくそう  
雪解けとともに、子どもの火遊びによる火災が多くなります。冬の間、火を扱うことが多く、子どもたちも火の扱いに慣れていきます。身近にある「火の元」を安易な気持ちで扱いがちです。また、「いたずら」「冒険心」が思わぬ火災につながることもあります。家族の人たちが日頃から、火事の恐ろしさを感じて、慎重に火を取り扱う姿を見せることが何よりも大切です。そして防火の知識を年齢に応じて指導していきましょう。

一、マッチ、ライターは幼児の手の届くところにおかない。  
二、アイロン、ドライヤーなどは子どものいたずらしない場所におく。  
三、子どもは火に興味を持ちやすいので、正しい扱いと恐ろしさをいっしょに教えていく。  
四、子どもだけで火を取り扱わせないようにし、火遊びは見かけた人が誰でも注意する。  
五、子どもだけをおいて外出する時は、火気と電気製品に十分に注意する。



## 「雪」が結ぶ 善意の輪

## 善意のご寄付

町では一月三十一日に豪雪対策本部を設け「雪害」の防止にあたっています。こうした中で町建設業協会(会長・佐藤吉次郎さん)と大野台の里園生の皆さんが除雪奉仕を行いました。大野台の里では、「自分たちでできる地域への奉仕を」と、逆ボランティア「活動の一環として、毎年、除雪奉仕。今年は百人近い人手で除排雪を行いました。建設業協会でも、機械力を動員して汗だくの作業。一人ぐらし世帯など奉仕を受けた各世帯から、大へん感謝されています。

町では一月三十一日に豪雪対策本部を設け「雪害」の防止にあたっています。こうした中で町建設業協会(会長・佐藤吉次郎さん)と大野台の里園生の皆さんが除雪奉仕を行いました。大野台の里では、「自分たちでできる地域への奉仕を」と、逆ボランティア「活動の一環として、毎年、除雪奉仕。今年は百人近い人手で除排雪を行いました。建設業協会でも、機械力を動員して汗だくの作業。一人ぐらし世帯など奉仕を受けた各世帯から、大へん感謝されています。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている人たちのために」と大野台の里園生・職員の方々の様子。

「困っている